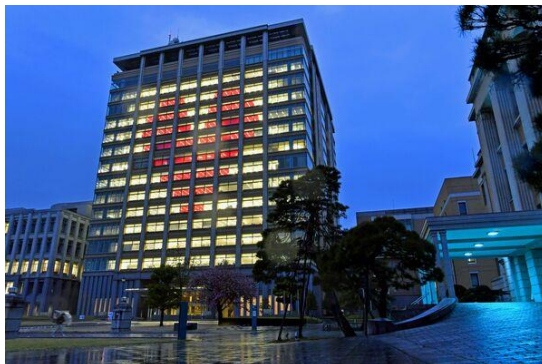


いつか 必ず きっと

グラップ・フォー・ケアラーズを知っていますか。

最前線で新型コロナウイルスと戦い、命を守ってくださっているお医者さんや看護師さんに敬意をこめ、決まった時間（正午から30秒間）に拍手をしたり、建物をライトアップしたりするすてきな取り組みのことです。栃木県庁でも、24日の夜から、真っ赤なハートが照らし出されています。その一方で、医者や看護師さんなどの医療従事者が近所の人から避けられたり、保育園に子供を連れてきてほしくないというような差別扱いを受けたりしています。感染した人のことを根掘り葉掘り調べ上げ、誹謗中傷する人もいます。誰もが、目に見えず本当のことがわからないウイルスとの戦いに不安や恐怖を感じて日々生活しています。敵を、目に見えないウイルスから人に変えて攻撃し、ゆがんだ方法で偽りの安心感を得ようとする。そういう人が発信する情報に同調する人がいる。間違った情報は、ウイルスの感染よりも早くSNS上で拡散していくのです。ゴールデンウィークも外出自粛、巣ごもり生活が続きます。先生が怖いのは、ウイルスではなく（ウイルスに対してできることは明確）、窮屈な生活の中で人と人との信頼関係が崩れていくことです。外出を自粛するだけではなく、誰かを批判したり、誰かのやっていることを否定したりすることをやめよう。今の自分にできることを考えて、どんな小さなことでもいいので積極的にやってみましょう。それが何かを考える際に、スマホはとても有効的な道具になると思います。自分や大切な人の心身の健康のために必要なことを見極め、選択する力を身に付けるチャンスにしていきたいと思います。



常識を疑いながら教室の環境整備を行っています。

あたりまえの日常が失われて授業のない日々。ならば、昨年度教室を使っていて不便だと思っていたことを改善できるように教室の環境整備をやってみようと思い立ちました。先生が一番不便だと思っていたことは、収納スペースが少ないということです。めったに使わないものをしまっておくための場所はあるのですが、日常的に取り出したりする機能性がないから結局、有効に使えない。それを改善するために、黒板横にある棚の扉を外してみました。なんとということでしょう。個人のロッカーに入れるべきものの多くを一か所にまとめてすっきりと収納することができました。次に、棚の中に入っているものを取り出しやすくするために、事務机を中央に配置しました。みんなに快適に過ごしてもらえるように、あれやこれやと新しいアイデアを考える時間はとっても楽しかったです。学校再開まで、健康に過ごせていることに対する感謝を目に見えるカタチにして過ごしたいと思います。



先生方による本紹介企画 ②『レモンをお金にかえる法』

文／ルイズ・アームストロング 絵／ビル・バツソ 訳／佐和隆光



みんなは「お金の話」と聞くとどう感じますか？興味がある、だけど難しそうと思う人が多いのではないのでしょうか。でも大丈夫！これは絵本です。子供がレモネードを売るだけのお話です。5分くらいで簡単に読めてしまいます。それなのに金銭の基本のことが全部わかってしまう本です！

人生はお金を頑張って稼ぐことも大切ですが、それ以上に使い方で楽しめるかそうでないかが変わってきます。たとえば税金は多くとられることはたくさんありますが、もらうときはたいい自分から申し出ないともられません。また多くのお金持ちの人はお金を「稼ぐ」のではなく、自動で「増やす」仕組みを持っています。

人生を楽しみたいと思うなら、ぜひ手に取ってみてください。

（紹介者／大関 崇真）